

伊達市立図書館のあり方について

提言書

平成29年2月16日

伊達市立図書館あり方検討委員会

はじめに

私たち伊達市立図書館あり方検討委員会は、図書館を取り巻く環境の変化を踏まえ、今後の図書館の果たすべき役割や機能などを検討し提言する事を目的に、平成28年6月8日に組織され、これまで5回にわたり検討を重ねてきました。

現図書館は、人口同規模の他市図書館に比べて登録者・来館者の割合が高く、利用率は高い状況にあります。一方で、施設が狭く職員数が少ないため、開架書架が手狭で十分な展示ができない、閲覧席が少ない、障がい者の利用が困難、乳幼児に対応できる場所が区別されていないなど、施設・設備やサービス面で様々な課題が見受けられます。それらの現状や課題に基づいて議論を重ねた結果、「伊達市立図書館のあり方」について次のとおり提言します。当委員会の提言書をもとに、伊達市における生涯学習のひとつの拠点となり、将来にわたって市民一人ひとりに愛され広く活用される図書館になることを強く希望します。

伊達市立図書館あり方検討委員会
委員長 万代 淳

「伊達市立図書館のあり方について」の提言

将来的に人口減少とともに少子高齢化が進行する中、市民一人ひとりが心豊かな生活を送るためには、多くの市民に利活用され、生涯学習の拠点となる図書館が必要です。図書による乳幼児の子育て支援、子どもたちの学習支援や放課後の居場所づくり、それぞれの年代に応じた読書活動の推進や知的好奇心に応えるとともに、そこに集う多様な人々を緩やかに結びつける働きが必要となります。そこでは、市民の求めに応じて様々な情報が提供されること、市民の憩いの場となり市民同士の交流を図れること、市民と本を結びつける効果的なサービスが提供されることなどが求められます。私たちは、今後の市立図書館に求められる機能を次の3つにまとめました。

1. 必要な情報を容易に得られる図書館

☆書籍や資料、電子媒体などが充実し、市民の求めに応じて必要な情報を提供する、情報の集積基地としての機能が求められる。

施設・設備

- ・開架書架の増設により利用者の目に触れる図書を充実する。
- ・資料が充実するとともに利用時の利便性を高める。
- ・CD や DVD などの電子媒体の利用を可能にする。
- ・インターネット環境の整備により様々な情報へのアクセスを可能にする。
- ・新聞や行政資料、郷土資料等の恒久的に保存が必要な資料の電子データ化を図る。
- ・市民が抱える様々な課題を解決することができる資料を充実する。

運営・サービス

- ・利用者の意見を反映した図書選定をおこなう。
- ・除籍基準を整備し、蔵書数を適正に管理する。
- ・レファレンスを充実し市民の課題解決を支援する。

2. 市民の居場所となる図書館

☆幅広い層の利用者が、その目的に応じて気軽に足を運ぶことができ、居心地よくゆったりと過ごすことができる、市民の居場所としての機能が求められる。

施設・設備

- ・開架書架と一体となった広くて静かな閲覧席を確保する。
- ・子育て支援や読み聞かせ活動などに配慮した空間を確保する。
- ・放課後学習や調べ物などに集中できる個別ブースを確保する。
- ・軽い飲食ができ、来館者同士が緩やかにつながり交流を持つことができる空間を確保する。
- ・屋外の自然に触れながら読書を楽しめる空間を確保する。
- ・障がいの有無にかかわらず快適に利用できるバリアフリー構造とする。
- ・公園側からの動線確保や周辺の照明増設などの環境整備をおこなう。
- ・公共交通機関との接続に配慮し、来館者の利便性を高める。

運営・サービス

- ・子どもたちの学習を支援する取り組みをおこなう。
- ・高齢者や障がいのある来館者へのサポートを充実する。

3. 本と人を結ぶ図書館

☆様々な情報の提供や展示、イベントなどを通して、来館者はもちろん、来館できない人や来館したことがない人にも本と出会うきっかけをつくる、読書活動の拠点としての機能が求められる。

施設・設備

- ・わかりやすい館内表示や配架の工夫によって図書を探しやすくする。
- ・来館できない人が身近な場所や宅配などで本の受取・返却ができるシステムを構築する。

運営・サービス

- ・図書に関する様々なデータや新刊情報の紹介、ポップの工夫などによって来館者と本を結びつける情報提供をおこなう。

- ・ 様々な媒体を使い、多くの人目に触れるような情報発信をおこなう。
- ・ インターンシップや出前講座などを通して子どもたちが図書館に関わる機会をつくる。
- ・ 他の文化施設などとも連携し、様々なイベントを通して図書館とつながるきっかけをつくる。
- ・ イベントの担い手となる組織との連携を図る。
- ・ ボランティアや学校、施設などの各団体との連携により、幅広く読書活動を推進する。
- ・ レファレンスを充実し市民の読書活動を支援する。

おわりに

以上3つの機能を効果的に果たしていくためには、現図書館の増築あるいは改築が強く求められます。その場合、豊かな自然環境に囲まれ市民の憩いの場となり、他の文化施設との連携が容易である現在地での増築あるいは改築を希望します。また、利用者へのサービスの量と質の継続的な向上のために、司書の増員と正職員の司書の配置が必要であるとともに、職員の研修の機会を充実し資質の向上を図ることが求められます。さらに、市民サービスの向上には、図書館職員の職場環境の改善を図ることも必要です。なお、提言には既に実施されていることも含みますが、それらが将来にわたって継続的発展的に取り組まれることを期待して併記しています。

○伊達市立図書館あり方検討委員会

役職	氏名	所属	選出区分
委員長	万代 淳	伊達市立図書館運営協力会	各種団体推薦
副委員長	有村 幹治	室蘭工業大学准教授	有識者
委員	岩花 幸子		公募
	大越 祐平	ふたば保育所	各種団体推薦
	小畑 次男	伊達市社会福祉協議会	各種団体推薦
	河原 美千代		公募
	木谷 明実		公募
	大光 力	伊達市社会教育委員	各種団体推薦
	高橋 かなこ		公募
	本多 正機	伊達市立図書館運営協力会	各種団体推薦

○委員会開催概要

	開催日	議事
第1回	H28. 6. 8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伊達市立図書館あり方検討委員会の設置について ・ 委員長、副委員長選出 ・ 今後のスケジュール等について ・ 伊達市立図書館の現状と課題について
第2回	H28. 7. 6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の図書館に求められる機能について
第3回	H28. 9. 14	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の図書館に求められる機能について
第4回	H28. 11. 30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提言書について
第5回	H29. 1. 25	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提言書について